

地域利用施設『わいわい館』 利用案内

山本山手 ^{ココ} CoKo センター

2019年10月1日より施行



- 遊戯室・授乳室・スタッフ室は『子ども館』の専有スペース
- コミュニティ室・ミーティング室・キッチン設備は『わいわい館』の専有スペース
- 多目的室・玄関・トイレ・ホールは共有スペース

わいわい館開館時間

原則は子ども館の会館時間に準じます。

日曜・祝日・午後5時～午後8時までの利用も可能ですが、わいわい館館長の許可が必要です。

子ども館の開館時間

月～土 10:00～17:00 (但し 12:00～13:00 閉館)

日曜・祝日・年末年始(12/29～1/3)は休館

* しかし、変更もあるので詳細は『子ども館』にお問い合わせください

問合せ

メール waiwai@ymtc.info

予約状況

予約状況は『山本山手コミュニティ』のホームページから
わいわい館予約サイトに移動してご確認ください。

山本山手コミュニティホームページ: <https://www.ymtc.info>



予約サイトのQRコード

貸室案内

| | |
|----------|--|
| A | コミュニティ運営委員会の構成団体 及び わいわい館執行委員会が承認(注1,2参照)した団体 |
| B | 上記以外 |

* 利用料金、予約方法は別紙参照

(注1) 承認の条件:貸室利用者の8割以上が山本山手コミュニティの会員であること

承認申請には利用者の名簿(住所・氏名)提出が必要です

(注2) 物品販売、教室利用等は山本山手コミュニティ会員でも「B」になります

インクジェット複合機の利用

A4 1枚当たり 白黒 5円、カラー 10円 (両面印刷は2枚にカウント)

A3 1枚当たり 白黒 10円、カラー 20円 (両面印刷は2枚にカウント)

* 何れも普通紙込みの料金です(用紙を持ち込んでも価格は同じです)

* 個人使用はできません

(運営委員会のメンバーがコミュニティの活動に必要な印刷に限ります)

貸室利用料金

| 部屋 利用時間 | ミーティング室 定員12人(鏡あり) | | コミュニティ室 定員30人(スクリーンあり) | | 多目的室 定員16人 | | 多目的室& キッチン設備 | |
|-------------------|-----------------------|-------|---------------------------|-------|---------------|-------|-----------------|-------|
| | A | B | A | B | A | B | A | B |
| 午前 10:00~13:00 | 450円 | 900円 | 750円 | 1500円 | 750円 | 1500円 | 1350円 | 2700円 |
| 午後 13:00~17:00 | 600円 | 1200円 | 1000円 | 2000円 | 1000円 | 2000円 | 1800円 | 3600円 |
| 夜間 17:00~20:00 | 450円 | 900円 | 750円 | 1500円 | 750円 | 1500円 | 1350円 | 2700円 |
| 超過 1時間まで | 150円 | 300円 | 250円 | 500円 | 250円 | 500円 | 450円 | 900円 |

- * 定員は机利用の場合の標準的な収容人数です
- * ミーティング室とコミュニティ室は2部屋合わせて大ルームとして利用できます
- * キッチン設備は多目的室とセットでの貸室になります。
- * 片付け等で止むを得ず時間が超過した場合も、30分以上は超過料金をいただきます
超過が1時間以上の場合は「午前」「午後」「夜間」の料金をいただきます

利用手続き

* 利用状況は『わいわい館予約サイト』を参照してください

I 利用登録 貸室希望者は、『わいわい館予約サイト』からお申し込みください

※ 利用案内をご確認ください

II 予約 利用日の3ヶ月前より受け付けます

ただし、わいわい館執行委員会が認めた年間予約利用者は、年度初めに年間予約が出来ます

III 利用料金の支払

1) 年間予約利用者は3ヵ月分を前払いで指定口座に振込(※1)、もしくは、運営委員会開催中にご来館頂き、お支払いください。(釣銭の無いようにお願いします)

(振込の場合、4月から6月分は4月1日から10日の間に3ヵ月分を振込)

2) 年間予約以外は1ヵ月分を使用後に振込(※1)、もしくは、運営委員会開催中にご来館頂き、お支払いください。(釣銭の無いようにお願いします)

(振込の場合、4月分は5月1日から10日までに振込)

3) 領収書の必要な方は事前に連絡の上、運営委員会開催中にご来館ください。

4) キャンセルは、利用日の1週間前までにご連絡は下さい。1週間を切った場合は、貸室料金をいただきます。

(例) 木曜日の予約の場合、1週間前の木曜日までにご連絡があれば利用料は発生致しません。
それ以降のご連絡の場合は、貸室料を頂きます。

*気象庁より「警報」が出た為に予約した貸し室の利用を取りやめた場合、利用料は発生しません。

※1:振込手数料は、ご利用者様の負担になります。

IV 利用の仕方

利用が終わったら部屋を掃除して元どりの配置にして、

『利用点検表』に記入して提出してください

トイレも必ず点検・掃除をおねがいします

地域利用施設『わいわい館』 管理規程

(総則)

地域利用施設『わいわい館』は、宝塚市山本山手地区まちづくり協議会(以下『山本山手コミュニティ』)の構成区域内に居住する者の交流を促進して、良好な住環境をめざすための活動拠点である。

第1条 (趣旨)

この規程は、本施設の管理運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

第2条 (運営)

本施設の管理運営に関しては『山本山手コミュニティ』の運営委員会で承認された執行委員会によって運用される。

第3条 (執行委員会)

執行委員会は委員長(コミュニティ代表)、館長と執行役員(会計)を含む 3～4名で構成する

第4条 (利用者)

利用者は、原則としてコミュニティ会員とする。

第5条 (運用の細部)

本施設の運営上の細部は別途定める「管理規程細則」による。

第6条 (会計)

本施設の会計は『山本山手コミュニティ』会計と分離独立する。ただし『山本山手コミュニティ』運営委員会に会計報告するものとし、会計年度は4月1日より翌年3月31日とする。

第7条 (運営資金)

本施設の運営資金は主に施設利用等の事業収入で賄うものとする。

第8条 (複合施設)

本施設は子ども館との複合施設なので、両方に関係する案件については、宝塚市立山本山手子ども館との連絡会において協議調整を行う。

第9条 (補則)

この規程以外に本施設の運営管理に必要な事項は、執行委員会がまとめ、『山本山手コミュニティ』運営委員会で決定する。

第10条 (付則)

この規程は2019年4月1日より実施する。

地域利用施設『わいわい館』 管理規程細則

【複合施設としての管理運営】

地域利用施設『わいわい館』（以下、わいわい館）は、宝塚市立山本山手子ども館（以下、子ども館）と互いに協力して山本山手 CoKo center の管理運営を行う。

1. 共有備品、消耗品、光熱水道費等の購入・管理・配分について、子ども館の指定管理者「第6ブロック子ども館協議会」（注参照）と協議の上実施する。
2. 共用部分の利用、管理維持等、日常の管理運営に関しても指定管理者「第6ブロック子ども館協議会」と協議調整を行う。
3. 安全管理マニュアルは、子ども館のものに準じるものとする。

（注）子ども館の指定管理者「第6ブロック子ども館協議会」とは・・・

第6ブロック子ども館を運営するために作られた協議会です。第6ブロック子ども館は山本山手コミュニティ、コミュニティひばり、中山台コミュニティの3つのコミュニティで構成されています。他のブロックでは通常1つの児童館が設置されていますが、第6ブロックの地理的な条件に合わせて、それぞれのコミュニティに1つの子ども館が設置されました。本協議会の事務所は山本山手子ども館内に置かれています。この協議会は3つのコミュニティの連携を基に、子どもの幸せと子育て家庭への支援を行うために作られました。

【執行委員会の任務】

1. コミュニティの活動拠点としての適正な運用と利用促進に努める。
2. 子ども館との一体管理に向けて連携を密にし円滑な運営を図る。
3. 予算の作成及び執行を管理し、コミュニティ運営委員会に報告する。

【管理運営内容】

1. 鍵の管理

管理責任者はコミュニティ代表及びわいわい館館長とする。なお、コミュニティ代表はマスターキーを館長はキーボックスを保管する。但し、子ども館スタッフも必要な鍵を保管する。

* 原則として、玄関及び駐車場の開錠施錠は子ども館スタッフが行う。日曜、祝日、夜間等子ども館スタッフが不在時には、管理責任者から鍵管理の指示を受けたものが行う。

2. わいわい館の管理運営に関して、下記のように業務を分担する

〈経理〉

わいわい館の管理運営に関する会計処理。消耗品の発注、光熱水費等の支払

〈電気・水道の利用状況の把握〉

電気・水道のメーター確認は子ども館がする。

〈会館利用調整〉

予約受付、利用料徴収、予約一覧表の更新など。

* ただし、2019年4月より管理運営方法が大きく変更となったので、上記の業務分担については実情に応じて改良していくこととする